



広報



市の花・つつじ



FUSSA

平成19年(2007年)

6月15日 No. 737

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

人口と世帯数(平成19年6月1日)現在

区分	住民基本台帳	外国人登録	合計
人口			
男	29,698	1,088	30,786
女	29,030	1,239	30,269
計	58,728	2,327	61,055
世帯数	27,487	1,181	28,668

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

2面嘱託員募集

3面平成18年度情報公開制度・個人情報保護制度運用状況

4面平成18年度下半期財政公表

5面第57回社会を明るくする運動

6面町会・自治会に加入しましょう

7面市営プールオープン

8面保健ガイド

いっしょにつくろう「男女共同参画社会」

6月23日から29日は男女共同参画週間です

いい明日は 仕事と暮らしの ハーモニー

平成19年度内閣府男女共同参画週間標語

●市役所は8月4日(土)は七夕まつり期間中のため閉庁します。

問合せ企画調整課企画調整担当



男性も女性も職場・学校・地域
家庭などさまざまな場で、それ
ぞれの個性と能力を發揮できる
「男女共同参画社会」の実現に
は、市民の皆さんの協力が必要
です。

市では福生市男女共同参画行
動計画で5年間(平成18年度か
ら22年度)に市の取り組むべき
施策・事業の目標を明らかにし
ました。また、ことし3月に福生
市男女共同参画実施計画を策定
し、平成19年度から21年度に取
り組んでいく施策・事業を具体
的に定めています。

行動計画では、次の点を課題
としています。

○男女平等にねざした人間形成
の推進
○職場・家庭・地域における男
女共同参画・参加の促進
○女性の人権が推進・擁護され
る社会の形成

この週をきっかけとして、
身近な男女のパートナーシップ
を考えてみませんか。

・福生市男女共同参画行動計画
・福生市男女共同参画実施計画
は福生市ホームページ
(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)「くらし」→「男女共
同参画」でご覧いただくことが
できます。

男女とも仕事をし、家事・育
児も男女で分担する(平等分担
型)が一番多く、男性が仕事、女
性は家事・育児に差し支えない
範囲で仕事をする(条件付き役
割分業型)が一番目に多くなっ
ています。

共働きの男性は「平等分担
型」の割合が前回(平成7年度)
調査から大きく伸びています。

■調査結果はどのようにな
っているのでしょうか?
家庭における性別役割分担
のあり方をどう考えるか?

平成18年9月に市民の皆さん
にご協力をいただいた調査の
結果がまとまりました。

調査対象は市内在住の20歳
以上の男女1,500人で、有
効回収数462票、回収率は30
・8%でした。公募市民のご意
見をいただきながら、調査の作
成・まとめを行いました。


●男女共同参画に関する
市民・意識実態調査がまとまりました

●「あなたとわたし」7月に発行します
テーマは「防災」です

男女共同参画情報誌「あなたとわたし」第24号では、「防災」について、男女共同参画の視点から取り上げていきます。

近年各地で起きた災害では、避難所などで、女性がとても不自由な思いをしているという話を聞きます。ボランティアとして被災地で活動した経験を持つ女性のお話を中心に、男性・女性がともに地域を守る、これからの防災を考えます。

全世帯に配布しますので、ぜひご覧ください。
※市民編集委員を募集中です。
問合せ協働推進課



男女とも仕事をし、家事・育
児も男女で分担する(平等分担
型)が一番多く、男性が仕事、女
性は家事・育児に差し支えない
範囲で仕事をする(条件付き役
割分業型)が一番目に多くなっ
ています。

職業
女性の昇進、賃金・昇給の格
差、職種・ポストなどに関して
は、男性の方が高い問題意識が
あると言われた前回調査同様の
結果となっています。

地域・社会参加
地域活動への参加は増えてお
り、特に50代で参加意識の高さ
が示されています。

子育て・教育
「男女共同参画社会に向けた
教育で重要なこと」では、「ひと
りの人間として男女を互いに認
め合うことを教える人権教育」
が7割を超え、次いで「男女の生
き方や役割についての固定的な
発想や役割分担意識を見直す教
育」となっています。


子育て・教育
「男女共同参画社会に向けた
教育で重要なこと」では、「ひと
りの人間として男女を互いに認
め合うことを教える人権教育」
が7割を超え、次いで「男女の生
き方や役割についての固定的な
発想や役割分担意識を見直す教
育」となっています。

子育て・教育
「男女共同参画社会に向けた
教育で重要なこと」では、「ひと
りの人間として男女を互いに認
め合うことを教える人権教育」
が7割を超え、次いで「男女の生
き方や役割についての固定的な
発想や役割分担意識を見直す教
育」となっています。


●「見る・聞く・知る」
男女共同参画と国際平和

女性の人権が尊重されている社会では、男女ともに生き生き暮らせるのではないのでしょうか。パラグアイとドイツで、暮らしと平和を見つけてきた二人が対談形式で、みんなが生きやすい社会を探ります。

日時7月14日(土)午前10時～
場所市民会館第4・5集会室
講師藤掛洋子氏(東京家政学院大学准教授)・秋山典子氏(ドイツ平和村をサポートする会代表)
問合せ協働推進課



パラグアイにて



ドイツにて

人権
ドメスティックバイオレンス
については、相談体制の充実が
多く望まれています。

この調査の報告書は、福生市
ホームページ(「くらし」→「男女共
同参画」)、市内各図書館・公民館で
ご覧いただくことができます。

問合せ協働推進課

問合せ協働推進課

問合せ協働推進課

問合せ協働推進課

福生市のホームページアドレスは <http://www.city.fussa.tokyo.jp/> です